

様式第3号

令和8年度 第1回学校運営支援協議会 会議録

1 会 議 名 令和8年度第1回学校運営支援協議会

2 開催日時 令和8年5月28日（木） 9時30分から11時00分まで

3 開催場所 舞川小学校校長室および各教室

4 出 席 者

- (1) 委 員 小野寺 政吉 委員（会長） 小野寺 千秋 委員（副会長）
千葉 綾子 委員 小野寺 美智子 委員 氏家 壽栄 委員
芦萱 貞夫 委員 佐藤 麻衣 委員 佐藤 千代 委員（舞川幼稚園園長）
今川 晋 委員（舞川中学校校長）
- (2) 事務局 福岡 喜久子（舞川小学校校長）

5 議 題

- (1) 令和8年度の学校運営の基本方針及び重点について
(2) 令和8年度の地域とともにある学校づくりの重点活動について

6 公開、非公開の別 一部公開

7 傍 聴 人 0人

8 議事内容

(1) 役員の承認

委員の互選により、小野寺政吉会長、小野寺千秋副会長を選出した。

(2) 学校の現状報告

ア 教職員体制：定期人事異動により6名が転出、6名が転入。5年生担任に初任者を配置し、拠点校指導員等を含めた20名体制で教育活動を推進する。

イ 児童数：現在68名（前年度73名より減少）。市資料の予測では、令和12年度には42名まで減少する見込みであり、令和10年度頃からは複式学級導入の可能性がある。

ウ 児童の様子：学習や行事に落ち着いて取り組んでいる。特に1～6年生が混ざって遊ぶ「縦割り班活動（清掃や花壇整備等）」が活発で、異学年交流が円滑に行われている。

(3) 令和8年度 学校運営の基本方針と重点項目

ア 教育目標：「郷土をこよなく愛し、たくましい実践力をもって主体的・創造的に生きていく心豊かな子」の育成。

イ 重点事項（学びフェスト）

- ・ 挨拶・礼儀・言葉遣い：豊かな心の育成として最重点に置く。
- ・ 言葉の力の育成：コロナ禍で中断していた「読み聞かせ」を本格再開。司書や教員に加え、地域住民の協力も視野に入れる。

- ・ ICT の活用：タブレットを用いた個別最適な学び（各自の進度に応じたドリル学習等）を推進する。

※学校からの説明の後、委員からの承認を得た。

（４）協議事項および各委員からの主な意見

- ア 読書推進：児童同士の読み聞かせや、地域・センターと連携した読書機会の拡充を検討する。
- イ デジタル依存への懸念：家庭での夜遅くまでのゲーム利用や、オンライン上の約束事によるトラブル・依存傾向が課題として挙げられた。学校では「正しい使い方の教育」を徹底する。
- ウ 交通安全（自転車指導）：中学校入学後の自転車事故（転倒等）が懸念されており、小学校高学年のうちから操作技術や安全意識の指導を充実させる必要がある。
- エ 家庭教育の役割：箸の持ち方、挨拶、基本的な生活習慣などは、学校・地域だけでなく「家庭での教育力」が基盤であるとの指摘があった。
- オ 地域の安全：空き家への立ち入り防止や、雨天時の送迎における交通安全について注意を促す。

（５）新防災気象情報の運用について

- ア 新基準の確認：運用が開始される新基準に基づき、幼稚園・小学校・中学校で対応を統一する。
- イ 対応方針
 - ・ 警戒レベル３（高齢者等避難）が発令された場合、登校前であれば「自宅待機」を原則とする。
 - ・ スクールバスは運行しない。登園・登校の判断は、保護者がテレビやアプリで情報を確認し、自己判断で行うことを基本とする。
 - ・ 授業中に発令された場合は、保護者へのお迎え要請等、密な連携を図る。

（６）その他

- ア 年間行事予定の確認、学校公開への協力依頼。
- イ 次回（第２回・３回）の協議に向けた継続的な連携を確認。

９ 担 当

舞川小学校学校運営支援協議会事務局

舞川小学校 副校長 高橋 英樹